

# データ収集③

探究スキルアップ講座Ⅱ-③

熊本県立天草高等学校

# 本時の目的・内容

## 【目標】

社会科学分野のデータ収集法（アンケート）を習得する

## （内容）

- ① アンケートの実施について（講義）
- ② アンケート実施の際の留意点について（講義）
- ③ アンケートを作成してみる（個人作業）
- ④ 作成したアンケートについて意見交換（ペアワーク）

# ①アンケートの実施について

3

## アンケート実施の流れ(その1)

- ①何を明らかにしたいか（＝目的）を具体化する
  - ・「何が分かれば成功か？」よく考える
- ②調査項目を検討する
  - ・5～10分程度で終了する項目数が理想的
- ③調査対象者を選定する
  - ・回答数は多ければ多いほど良い（最低100）

## アンケート実施の流れ(その2)

5

### ④少数でのテストリサーチを実施

- ・テストでの気づきをもとにアンケートを改善する

### ⑤改善したアンケートをチェックしてもらおう

- ・担当者 → SSH研究部職員 → SSH研究主任の順

### ⑥アンケート実施

- ・回答期間は最低でも1週間以上とする

## アンケート作成テクニック(その1)

テストリサーチを有効活用する

- ・「その他」に書かれた項目を選択肢にする

選択肢で迷ったら、AIに聞いてみよう

例「商店街の活性化の方法を教えてください」→回答を選択肢に

タイトルには必ず日付を書く

例「20240925職員研修アンケート」

## アンケート作成テクニック(その2)

7

必ず、分岐を設定する。

質問1で「はい」と答えた人は、質問2に回答・・・。

※Googleフォームの機能を活用してください

## ②アンケート実施の際の留意点について

8

## アンケート実施の留意点(その1)

効果的な回答形式を選択しないといけない

単一回答：あてはまるものを一つ選ぶ

段階をつける場合は4～5段階

複数回答：あてはまるものを全て選ぶ

項目別回答数と総回答数の両方を活用

※他に順位回答、割合回答もある

## アンケート実施の留意点(その2)

10

回答者の背景（状況）を考慮してアンケートを実施する

例「天草高校への通学は快適ですか？」

仮に上記のアンケートをクラス全員に実施するとして  
考慮する（調べておく）必要があることは何？

※回答者の背景による結果のブレは極力排除する

## アンケート実施の留意点(その3)

11

クロス集計ができるアンケート項目とする

↑ 2つのアンケート結果を複合して集計する方法

例 「イチゴは好きですか嫌いですか。」

+ 「イチゴが好きor嫌いな理由を教えてください。」

※ 1 問目を単一回答、 2 問目を複数回答が良い

## アンケート実施の留意点(その4)

12

自由記述形式は追加質問として活用する

例1 「イチゴの何が好きですか。」【自由記述形式】

→味、色、形などの回答

例2 「イチゴの何が好きですか。」【単一回答】 →「味」

+ 「イチゴの味がなぜ好きですか。」【自由記述形式】

※より詳細に回答者の考えを聞くことができる

③アンケートを作成してみる

13

# アンケートを作成する

## 新型 iPhone についてのアンケートを作成する

目的：新型 iPhone の購入を促進させる方法を探るため

質問 1：新型 iPhone の購入を検討していますか？

<作成>

質問 1 の選択項目以降を作成してください。

## ④作成したアンケートについて意見交換

15

# アンケートについて意見交換する

①ペアを作り、作成したアンケートを交互に説明する

＜説明のポイント＞

- ・ 質問 1 の選択項目
- ・ 質問 2 以降
- ・ 質問同士の関連
- ・ 質問の回答形式

②他の人から交互に意見をもらう

＜意見のポイント＞

- ・ 参考になったこと
- ・ よくわからないこと

③もらった意見を踏まえて、アンケートの内容を加筆修正する